

日本建築学会コンクリートポンプ工法研究小委員会

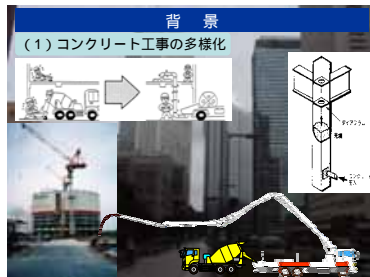
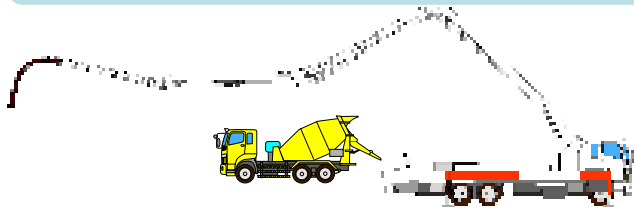
コンクリートポンプ工法施工指針改定講習会

東京・大阪 2009 年 12 月

コンクリートポンプ工法施工指針

同解説・講習会

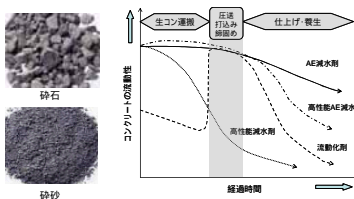
改定の主旨 1章 総則



背景

(1) コンクリート工事の多様化

(2) コンクリートの多様化



(3) コンクリートポンプの多様化・安全性の問題



・大容量、高圧ポンプの出現
・ブーム付ポンプの普及
・ポンプの老朽化

・ブームの折損
・アウトリガの損傷、転倒
・閉塞、輸送管の損傷

建築学会指針の改定方針

関連業界のマニュアル類の整備状況を考慮して
学会指針の内容を再検討

最近の技術を含め推奨技術の充実

コンクリートポンプ工法による施工計画の充実

プロセスコントロールに必要な
品質・施工性評価技術の充実

安全・環境対策技術の充実

指針の構成

1994年度版

- 1章 総則
- 2章 施工計画
- 3章 材料および調査
- 4章 発注および製造
- 5章 圧送および打込み
- 6章 コンクリートの品質管理および検査
- 付 録

2009年度版

- 1章 総則
- 2章 コンクリートの材料および品質
- 3章 施工計画
- 4章 圧送作業
- 5章 コンクリートの工場の選定
- 3章 施工管理
- 付 録

1章 総 則

1.1 適用範囲

- a. コンクリートポンプを用いた
コンクリート工事に適用
- b. レディーミクストコンクリート
JASS 5に規定するコンクリート
品質確保に対する推奨事項を示した

セメントの種類、混和剤の種類、砕砂
軽量骨材の含水率
スランプロス、分離・ブリーディング

1.2 適用の原則 (新設)

解説P19-20

a. コンクリートポンプ工法の採用にあたっての原則
を示した

(1) 十分な圧送能力を有するポンプ・配管
コンクリートの所定の品質・性能の確保

(2) 先送りモルタルは型枠内に討ち込まない

(3) 残コンクリート、先送りモルタル、洗浄水の
適正処理

(4) 作業環境の整備と安全対策

解説図 1.1 圧送計画の検討フロー 解説P20

